

秋田県知事 佐竹 敬久 様

要 望 書

秋田市中心市街地への
新たな文化施設整備について

平成 27 年 8 月 24 日

秋 田 商 工 会 議 所
会 頭 三 浦 廣 巳

秋田市中心市街地への 新たな文化施設整備について

当所では、県と秋田市協働による新たな文化施設について、従前より、「コンベンション機能を併せ持つ施設として設備すること」「中心市街地への建設を促進すること」「駐車場は中心市街地の遊休地等の活用を併せて検討すること」の3点を要望してまいりました。

今年3月に策定された基本計画には、①3千人規模の大会・会議等に対応できる施設、②秋田市が進めているコンパクトシティの形成につながるため市街地への整備が適当、③公共交通機関の充実、周辺民間駐車場の活用促進といった方針が盛り込まれました。

改めまして、基本計画策定に係る秋田県、秋田市及び関係者の皆様のご努力に敬意を表します。

さて、現在、県内各地で県民との意見交換が実施されており、施設の立地場所について様々な意見が出されているとお聞きしております。

今年6月公表された「秋田市中心市街地活性化アクションプラン」では、基本コンセプトである「千秋公園（久保田城跡）と連携した城下町ルネッサンス（中心市街地再生）」を踏襲することとしており、千秋公園と連携した新たな文化施設建設により、既存の文化施設、宿泊・飲食等商業施設等と一体となった文化・観光交流ゾーンの形成が期待されます。

また、県内外の老若男女が利用し易く、気楽に立ち寄れる施設となるためには、JRやバスなど公共交通機関の利便性に優れた立地が不可欠であります。

こうしたことから、県・秋田市協働の新たな文化施設については、現県民会館所在地に建替える形で建設することが最適であり、中心市街地内の未利用地の活用と併せ、具体的な建設計画を推進していただきますようお願い申し上げます。